

九州共立大学 中期計画（6ヶ年）〔平成23年度版〕

（期間：平成20年度～平成25年度）

中期計画				年度計画
重点課題	事業方針	事業目標	部局の施策	業務・事業
学生確保	入試の多様化と募集広報の充実	大学の特色を知った高校生から社会人の入学希望者が増加する	入学後から卒業までの満足度向上とサポート	平成22年度に計画達成 ・ DP、CP、APの策定及び結果のホ・ムページ上での公開
			受験しやすい環境づくり	・ 受験者実績数による地方会場の見直し ・ 入試要項の見直し
			大学に関する理解促進	・ 本学の強みについての高校向け広報を強化 ・ オープンキャンパスに向けたバスツアーの実施
教育活動	教育機能の充実	価値の高い教育が受けられ、設定した学習目標が達成される	教育専門能力の向上	・ 内部、外部教員による「FD・SD研修会」の開催 ・ F D指導機関の設置
			授業の充実	・ Webを活用した授業記録システム Syllabus On Lineの活用 ・ シラバスの改善、向上 (シラバスコーディネーターの配置) ・ 成績評価の公正、厳正化(GPA)
	教育組織の充実		・ 既存教育支援組織の円滑な運用と効率化を目指した再編成と教育支援機構設置に向けた調査及び検討 ・ 学習及び学生生活両面にわたる障害学生支援体制の構築に向けた調査及び検討	
	教育活動の充実		・ 入学前学習サポートの実施(初年次教育との連携、スクーリング、課題作文添削、入学前の質問等対応) ・ 図書館での新入生に対する情報リテラシー教育の実施 ・ 資格取得支援における学部教育との連携強化 ・ 大学施設等の利用促進(キャンパスマイレージ制度の運用)	
	教育支援の充実		カリキュラム、プログラムの充実	平成22年度に計画達成 ・ 資格取得のためのニーズに応えるカリキュラムの充実
学生支援	学生生活の支援	授業以外の学生生活が貴重な時間として活用できるための機能を充実する	健全な学生生活環境の提供	・ オリエンテーション・ガイダンスの充実(帰属意識の醸成、仲間づくり、退学者防止に関する取組)
			施設設備の充実	平成22年度に計画達成 ・ 福利厚生施設の充実と運営(寮・学食・売店・喫煙所・駐輪場他)
			人間形成の支援	・ 学生組織の充実と運営・指導・管理(学友会・各奨学生等の育成)
			学生ニーズの組織的な聴取	平成22年度に計画達成 ・ 学生の代表と定期的に意見の聴取や懇談を行う(キャンパスミーティング)
キャリア支援	社会の期待に応えられる人材の輩出	社会が求める能力を持ち、建学の精神を理解した人材を輩出し、進路を決定する	少人数個別指導の徹底	平成22年度に計画達成 ・ キャリアシートの実施徹底
			就職相談能力の充実	・ 現代GP『生涯キャリア開発型教育システム』の実績を土台とした「生涯キャリア支援による就業力育成」の取組みの徹底と遂行支援 ・ インターンシップの充実(現行システムの拡充と起業体験型・課題解決型インターンシップの導入と充実)
			就職決定意識の啓発	・ キャリア教育の側面支援(補講・補修)に対する特別プログラムの導入
			就職活動支援の強化	平成21年度に計画達成 ・ 学生出身地の求人情報収集のための企業アプローチ開発
研究推進	産学官の連携	外部資金の積極的活用	共同研究及び受託試験等の促進	・ 総合研究所として整備充実を図り、先端技術等の総合研究を推進する ・ 大学研究紀要の見直し
国際化	国際化への対応	世界各国との交流が活発であること	協定校との交流拡充	平成21年度に計画達成 ・ 学生及び教員の相互交流推進
教職員	事務等の効率化・合理化	教育研究支援のための事務体制が構築されていること	事務組織の機能・編成の見直し	・ 職員のより必要性の高い分野への配置や事務組織の活性化等により、事務機の高度化を図る

中期計画				年度計画
重点課題	事業方針	事業目標	部局の施策	業務・事業
教職員	人事の適正化	教職員の採用・昇任の方針が明確に示され、かつ適切に運用されていること 評価結果が教育研究に反映されていること 職員の資質向上のための取組みがなされていること	教員の人事評価	・教員の人事評価を継続実施し、評価内容の点検、見直しにより、人事評価制度の確立を図る
			教員の昇任基準の明確化	・平成22年度に計画達成 ・大学における教員の昇任基準の平準化を図る
			事務職員等の人事評価	・事務職員等の人事評価を継続実施し、評価内容の点検、見直しにより、人事評価制度の確立を図る
			評価結果の活用	・平成22年度に計画達成 ・評価結果は、給与等でのインセンティブ付与や任期付き教員の再任審査の基本的項目の一つとして、審査に反映させる等の仕組みを設ける
			事務職員等の人事制度	・事務職員等の資質向上のため、階層的研修を含め、研修の充実を図り、大学運営の中核を担い得る事務職員等を育成するための人事システムを構築する
管理運営	管理運営の改善及び効率化	管理運営体制が整備されており、適切に機能していること 管理部門と教学部門の連携が適切になされていること	効果的・機動的な運営	・各種委員会については、全学的な意志決定を効果的、機動的に行える体制を整備する観点から、各種委員会の見直し、再編を行う ・事務情報化を推進するとともに、設置大学内の一元化を図る
			教員・事務職員等による一体的な運営	・各種委員会に事務職員等が参画し、一体的な運営を図る
	社会的責務	財務情報の公開が適切な方法でなされていること 危機管理の体制が整備され、かつ適切に機能していること	情報公開等の推進	・平成22年度に計画達成 ・財務内容の状況に関する情報を積極的に社会に提供する
			危機管理体制の整備	・学園の危機管理に関し、必要な体制を整備する
財務	財務内容の改善	財務内容の改善が図られていること	経費の抑制	・教育、研究の充実を図りつつ、効率的な大学運営の仕組みを構築し、管理運営経費の抑制を図る
			資産の運用管理	・中期財政計画に基づき年度計画を達成する
教育研究環境	教育研究環境の整備・充実	図書館機能が充実し利用者サービスの向上が図られていること 必要なキャンパスが整備され、適切に維持、運営されていること	附属図書館の整備と活用	・新しい学術情報の在り方に適応する機能を整えるとともに利用者のニーズに応じて効果的なサービスを提供する
			計画的な施設整備と既存施設設備の有効活用	・施設設備や情報基盤等の教育環境を整備充実する
地域貢献	地域社会発展への貢献	地域の高等教育機関・地域交流の場として機能する	地域企業・他大学との連携	・平成22年度に計画達成 ・地域大学との授業交流（大学コンソーシアム開門）
			高大連携強化	・系列高校との連携 ・近隣高校との連携拡大
			地域の生涯学習機会の充実（大学施設の開放等）	・公開講座プログラムの拡充 ・行政、地域団体との連携強化 ・ボランティア活動支援強化及び主催事業の推進
			情報公開等の推進	・「生涯学習研究センター人材バンク」の整備と拡充